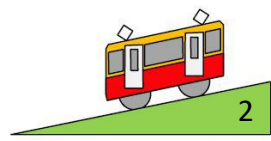


# ぬいぐるみ ワンちゃんの修理説明



ぬいぐるみ ワンちゃんの  
修理方法のデータベースです。  
内容はどんどん追加して行きます。

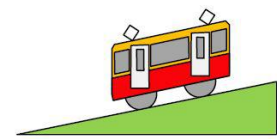
**\* おもちゃの修理はマニュアルがありません。  
必ず記録を取りながら分解して行ってください。**

2017年10月

おもちゃ病院 やわた

# ぬいぐるみ ワンちゃん 修理1

## 脱がし方



弱い接着剤で止めてあるだけなので、電池ボックスの周りから脱がして行きます。  
指で引っ張れない場合は、ラジオペンチなどを使います。  
少しだけ強引さが必要です。

着せ方は、この逆となります。  
最後は、電池ボックスの隙間にホットボンドを少しつけて、マイナスドライバで押し込んで行きます。  
意外ときれいに仕舞ができます。



後ろ足→尻尾→前足と順番に脱がして行きます。



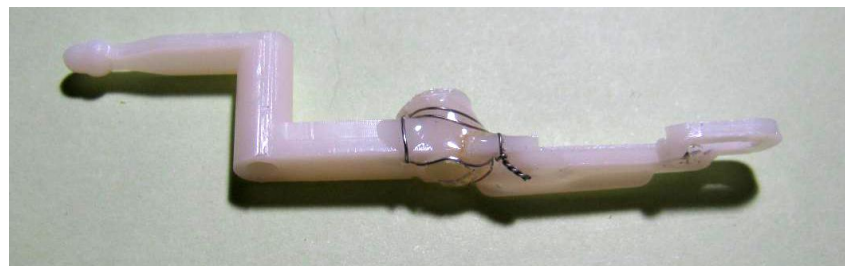
特別な理由がない限り、頭まで脱がす必要はありません。  
またできるだけこの状態をお子さんに見られないように注意！

# ぬいぐるみ ワンちゃん 修理2

## 部品割れの修理

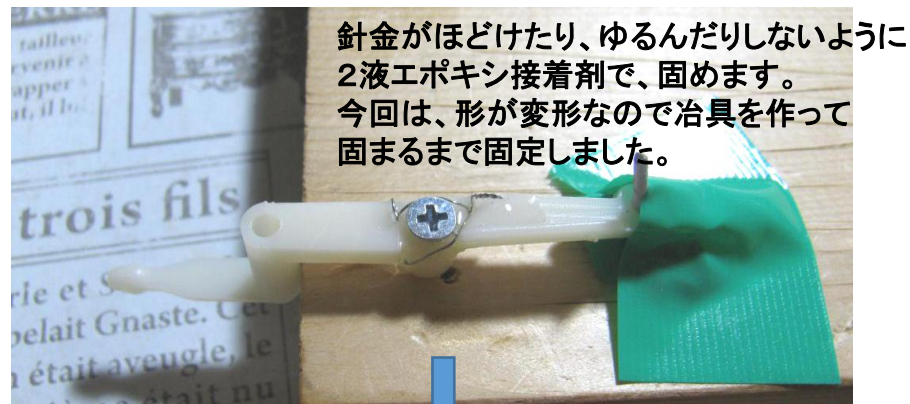


いろんな骨折パターンがあります。  
その部品にどのような力が掛かるか？よく観察して修理方法を決めます。  
上記は取り付け穴近辺で割れていて、左右方向に力を伝える部品であったので、この様な方法で修理しました。

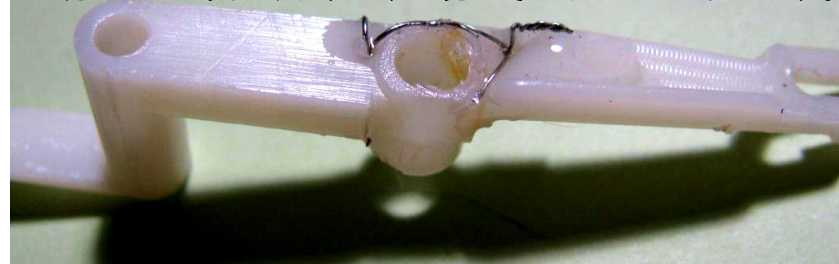


部品修理完了。

Φ0.8の穴を2カ所(両部品に1カ所づつ)空けて  
Φ0.2のステンレス針金で、実際の動作を阻害しないように  
縛っていきます。最後はラジオペンチでしっかりと締め上げます。



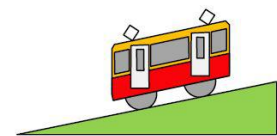
10分ぐらいで固まりますが、一晩はそのままにしておきます。



今回は穴に接着剤が流れ込んだので、固まってから削りました。

# ぬいぐるみ ワンちゃん 修理3

## 尻尾折れの修理



尻尾の折れです。見るからにどんな接着材を使っても修理できそうにありません。



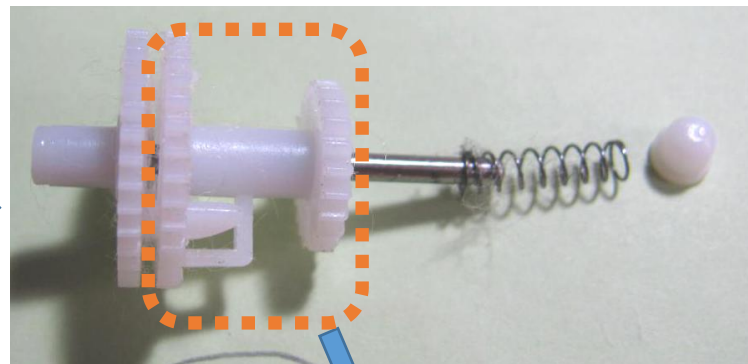
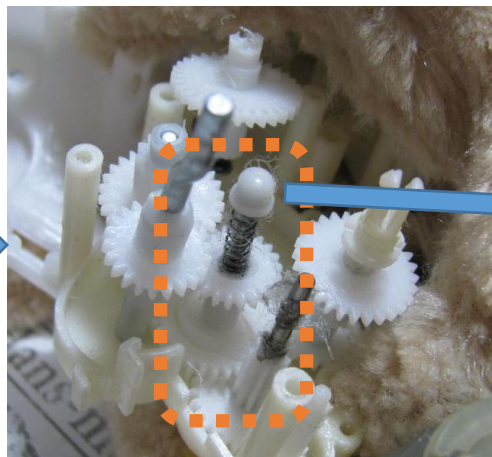
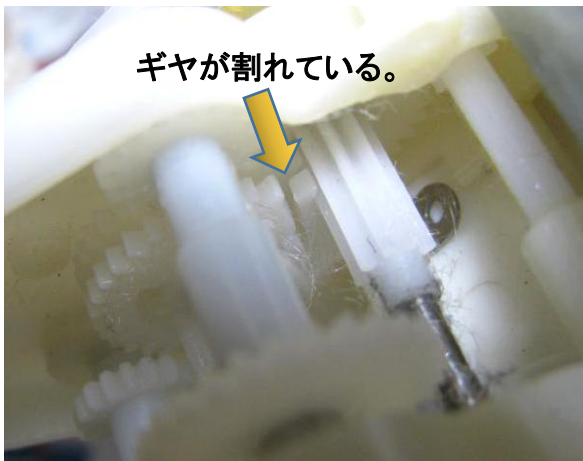
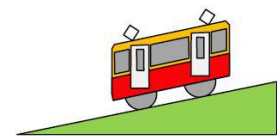
Φ0.8の穴を4カ所(両部品に2カ所ずつ)穴を空けてΦ0.2のステンレス針金で、実際の動作を阻害しないように縛っていきます。最後はラジオペンチでしっかりと締め上げます。



修理完了！  
硬化したパテは非常に硬いのですが、他の部品への粘着力は弱く、あくまでも補助です。



針金がほどけないようにパテで修理部分を包む様に固定します。ロックタイト社の「多用途補修パテ」を使います。混ぜ合わせてすぐに硬化が始まります。

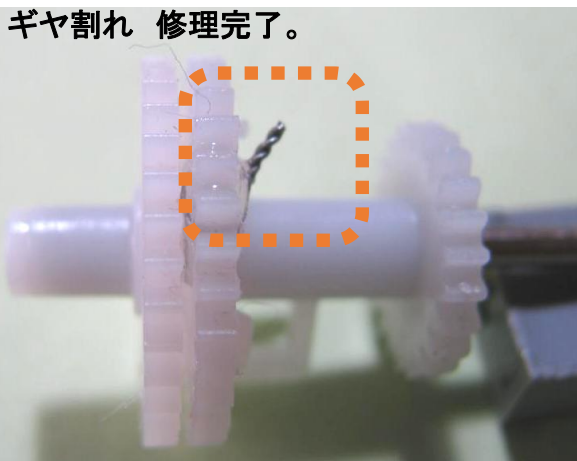


特殊な形のギヤです。

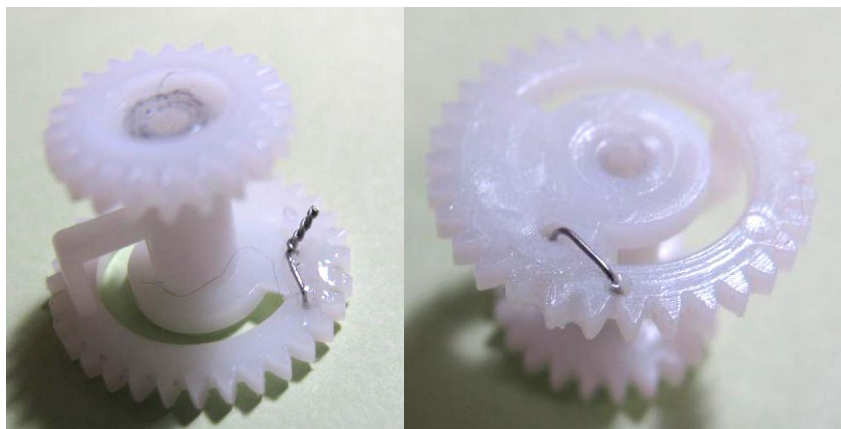
当然どこにも売っていないので、修理します。

ギヤボックスを開けます。  
バネが飛び出してくる場合もあるので慎重に！  
分解の順番を必ず記録しておきます。

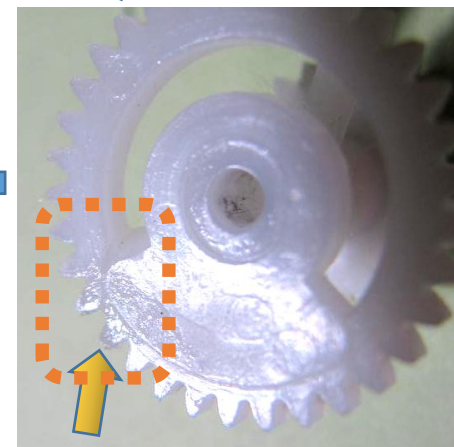
ギヤ割れ 修理完了。



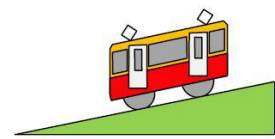
ステンレス針金の縛った部分が飛び出ていますが、この空間は何も無いのでそのままにしました。



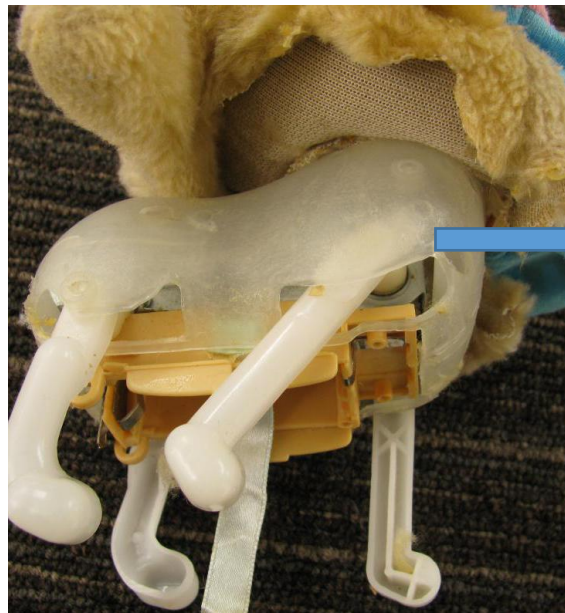
十分に脱脂した後にΦ0.8の穴を2カ所空けて、Φ0.2のステンレス針金で、しっかりと縛ります。最後はラジオペンチでしっかりと締め上げます。その後ほどけない様に、瞬間接着剤(ロクタイト 401)で固定。



ギヤの割れ部分。接合面積が少ないので、接着材だけでは、修理できません。



大事にされていたワンちゃんですが、中身は骨折してバラバラ。

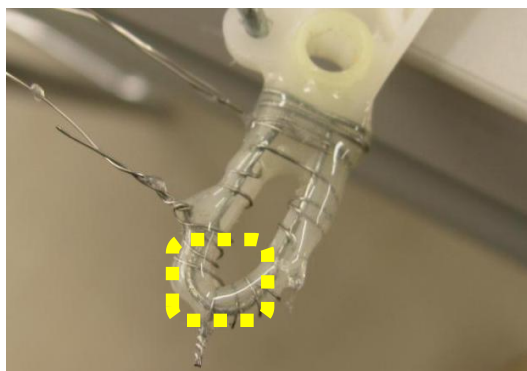


お尻や電池ボックスが割れていますが、一番重症は前足右肩の骨折です。



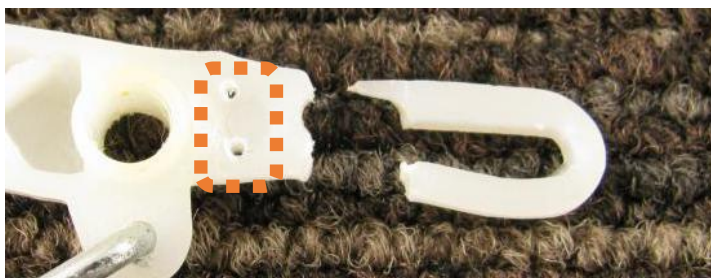
割れ部分

接着面もほんの僅かです。



歩くのに必要な部分は、曲線先端部の内側だけなので、接着剤が十分に固まった後、必要な部分をきれいに仕上げをして完了です。

2017年 おもちゃ病院 やわた



足の部分にΦ1.5の穴を2カ所空けて、右の部品を穴に入れ、折れた部品に沿わせます。そしてΦ0.2のステンレス針金で、折れた部品と針金を沿わせたまま、しっかりと縛ります。そのまま、二液エポキシ接着剤で固定します。



折れた部品の曲線に合わせたものを、Φ1.2の針金で作りました。先端は曲げてあります。